

イタリアンライグラス新品種「タチマサリ」 その特性と上手な利用法

雪印種苗(株) 千葉研究農場 作物研究室長

近 藤 聡

昨年よりイタリアンライグラスの新品種「タチマサリ」の試作を開始し、各地で好評をいただいておりますが、今秋より本格販売となりますので、再度、その特性概要と利用法について紹介させていただきます。

1 タチマサリの特性概要

タチマサリは弊社の千葉研究農場及び宮崎試験農場において、早生多収を目標に選抜育成された品種で、平成3年8月26日、農林水産省品種登録番号第2756号して認定されました(育成経過の詳細は本誌第40巻第8号(1992)参照)。

[品種特性]

1) 草姿・草型

生育初期からタチワセと同様に直立型を示し、出穂期の草型も強い直立型になりますが、葉先は下垂します。2倍体品種の中では葉幅が広く、茎もやや太めで、草丈も他品種に比べ目立って高く、大型の草姿となります(写真1)。

2) 出穂期

ワセユタカやタチワセと同じ早生品種で、宮崎では4月上～中旬、千葉では4月下旬～5月上旬に出穂期に達し、収穫適期となります。

3) 耐倒伏性

稈が強く、ワセユタカなどが出穂前はかなり倒伏してしまうのに対し、タチマサリは出穂するころでもかなり強く、タチワセと同程度もしくはそれ以上の耐



写真1 倒伏に強いガッチリしたタチマサリの草姿

倒伏性があります。

4) 耐寒・耐雪性

耐寒性は中程度ですが、北関東及び東北南部での栽培が可能です。耐雪性は中程度で、多雪地帯での栽培には適しません。

5) 収量性

早春から生育旺盛で、出穂期刈り1番草の乾物収量はワセユタカよりもやや高く、多収を示します(表1参照)。

6) 春播き性

春播き性は他の早生品種と同様で、春播きでも出穂性は高く、夏播きムギ類や飼料カブの後作な

表1 タチマサリの試験成績

(雪印種苗・研究農場、昭63)

品 種 名	出 穂 始		耐倒伏性(※)		草丈(cm)		生草収量 (kg/10 a)		乾物収量 (kg/10 a)	
	千葉	宮崎	千葉	宮崎	千葉	宮崎	千葉 (%)	宮崎 (%)	千葉 (%)	宮崎 (%)
ワセユタカ	4/22	4/10	2.0	5.0	102	133	5,704(100)	5,779(100)	922(100)	1,095(100)
タチワセ	4/22	4/7	9.0	6.7	107	133	6,121(107)	5,529(96)	955(104)	1,255(115)
ワセアオバ	4/22	4/12	3.0	5.0	104	131	5,917(104)	5,346(92)	941(102)	996(91)
タチマサリ	4/22	4/6	8.3	6.0	120	143	6,167(108)	5,712(99)	923(100)	1,338(122)

注) ※…極強9—極弱1

ど、早春播きでも利用できます。

2 タチマサリの上手な利用方法

[サイレージ・乾草利用に適する]

タチマサリは耐倒伏性に優れていることから、倒伏によるむれが少なく、降雨後でも天气が回復すれば根元まですぐ乾くことや2倍体品種で乾物率が高いことから、予乾・乾燥効率に優れ、サイレージや乾草利用に特に適しています。また、倒伏の発生が少ないため、機械で刈取る場合もロスが少なく、効率良く作業ができます。もちろん、青刈りでの刈取り作業も楽に行えます。

図1は、刈取り後の乾燥速度(水分含量の推移)を他品種と比較したものです。タチマサリは茎が太い割には乾きが早く、ワセユタカと同様でし

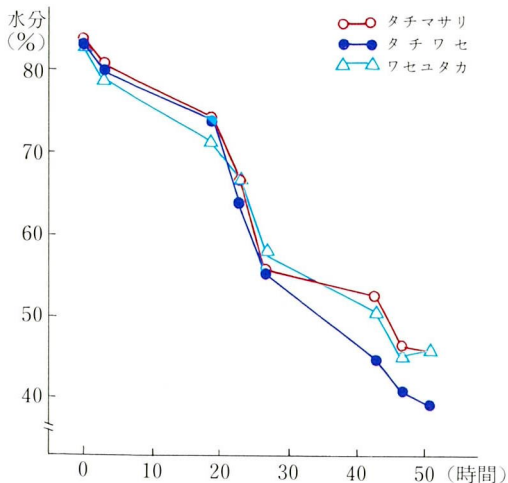


図1 刈取り後の水分含量の変化

* 出穂初期に刈取り、温室に広げ、放置した条件下で経時的に水分を測定、茎の圧砕処理などはなし。

た。降雨後の倒伏多発条件では、倒伏に強いタチマサリやタチワセは茎葉に付着する水が少ないため、より乾きが早くなるでしょう。また、モーフコンディショナなどで茎を圧砕し、反転を行えば、より短期間に乾草調製が可能です。

[トウモロコシ・ソルガムなどの前作に適する]

タチマサリの出穂期(収穫適期)は西南暖地で4月中旬、関東で4月下旬～5月上旬ですので、比較的天候の安定する収穫に適した時期となります。収量は乾物で1t前後と多収が得られ、その後はちょうどトウモロコシの播種適期であり、年間で安定した多収体系となります。

ソルガムの前作としても同様に適しますが、ロールベラーなどを利用した乾草生産を目的とし、スーダングラスや暖地型牧草を栽培する場合、天候の安定する梅雨明け後に収穫することを考えれば、播種期は5月下旬～6月上旬となり、それ迄の間(タチマサリの1番草収穫後40～50日程度)、余裕があれば、タチマサリを2番草まで利用し、その後、作付けするのもよいでしょう。タチマサリは、どちらかと言えば一発勝負型の品種で、多回刈り長期利用には向きませんが、2番草まで(5月末～6月上旬ころ)は実用的な利用ができます。図2に、タチマサリを利用した作付け例を示しますので参考にして下さい。

[混播利用]

1) マメ科牧草との混播栽培

タンパクやミネラル成分の向上を目的としたイタリアンライグラスとマメ科牧草の混播栽培がありますが、タチマサリはタチワセと同様に直立型

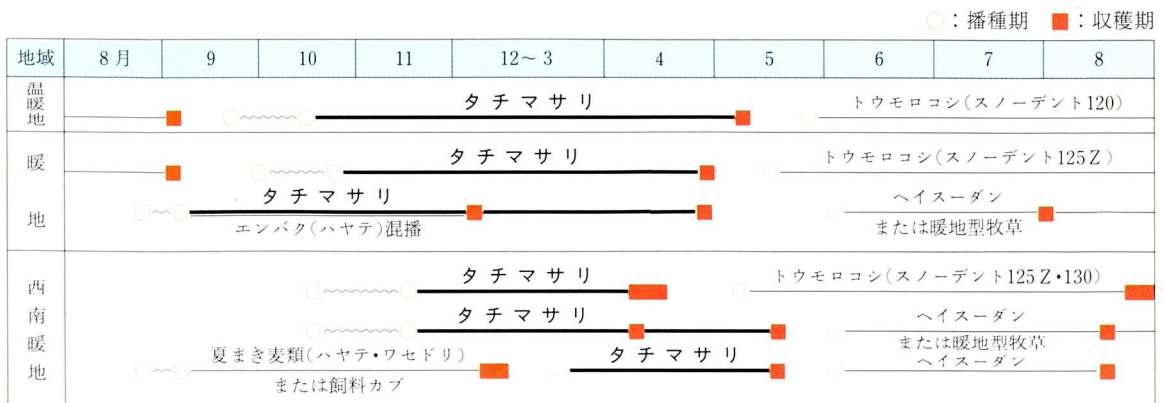


図2 タチマサリを利用した作付け例

で倒伏に強いので、生育の遅いマメ科牧草を被圧する程度が少なく適しています。しかし、タチワセのようなアップライトリーフではなく、垂れ葉のため、タチワセに比べると光の透過性が悪いいため、クローバとの混播にはタチワセの方が適しています。ベッチ類はつる性で茎葉に巻き付き、はい上がってくるので倒伏を助長することがありますが、タチマサリとの混播にはよいでしょう。混播の場合、タチマサリの播種量は2 kg/10 a 以内とし、窒素肥料は極少量とするか無施用とします。

2) 晩生品種との混播栽培

利用期間の延長、収穫適期幅の拡大、倒伏の軽減、早春の収量アップなどを目的とし、タチマサリと中生の普通種、晩生系のマンモスBやエースを混播すると利用性を上げることができます。混播割合は目的によってやや異なりますが、通常は半々で良いでしょう。

3) ムギ類との混播栽培

タチマサリと夏播きムギ類との混播で省力連続栽培、秋播きムギ類との混播でムギの嗜好性の改善や水分調整など利用性の改善が図れます。

播種量は夏播きの場合、タチマサリは3 kg/10 a とし、ムギの播種量は、エンバク「ハヤテ」の場合5 kg/10 a、オオムギ「ワセドリ」の場合7 kg/10 a とします。秋播きの場合、タチマサリは1.5 kg/10 a とし、ムギの播種量は、「ハヤテ」は3 kg/10 a、「ワセドリ」は5 kg/10 a とします。

3 栽培利用上の注意点

タチマサリは前述したように、耐雪性は中程度で、あまり強くありませんので、多雪地帯での栽培は避け、エースやミユキアオバなどの耐雪性の強い品種を利用して下さい。

また、冠さび病にもあまり強いほうではありませんので、極端な早播きは避け、九州南部での播種期は9月中旬以降がよいでしょう。

嗜好性については、これ迄の知見から他のイタリアンライグラスの品種と同様に良好と判断しています。ただし、従来の品種は出穂前に倒伏してしまうため、倒れてから仕方なく収穫することが多かったのに対し、タチワセのような倒伏に強い品種の場合、倒れないからまだ大丈夫と収穫され

表2 繊維成分の分析値 (乾物中, %)

	品 種 名	OCW	Oa	Ob	Ob/OCW
出穂 始 め	タチワセ	60.4	22.2	38.2	63.2
	ワセユタカ	56.4	21.4	35.0	62.0
	タチマサリ	59.6	23.2	36.5	61.3
開 花 期	タチワセ	66.0	19.0	47.0	71.3
	ワセユタカ	63.0	16.7	46.3	72.5
	タチマサリ	62.0	18.0	44.0	71.0

(雪印種苗・宮崎試験農場, 平成3年)

ず、結果的に嗜好性や栄養価を低下させている例が見受けられます。タチマサリも同じ理由から、倒れないからといって刈り遅れないよう、適期(出穂初期～出穂期)利用を守ることが上手な利用法だと思います。

なお、参考までに表2にタチマサリと他早生品種の繊維成分の分析結果を示しました。分析時期によりばらつきがありますが、これによると、総体の繊維成分を示すOCWの値はタチワセが他品種に比べやや高い傾向が見られます。そのため難消化性の繊維成分を示すObの値もタチワセがやや高い値となっていますが、易消化性のOaの値も高いので、OCWの中に占めるObの割合は他品種とあまり変わりません。タチマサリはどちらかというワセユタカに近いが、中間的な特性を示しています。なお、当農場の試験牛での嗜好性試験からは、各品種の採食量の差は特に認められず、これらのことが直接嗜好性や産乳性に影響するかどうかは明確ではありませんが、強いて言えば、自給飼料に対し嗜好性や産乳性を重視する酪農家にはタチマサリが、物理性(繊維)を重視する肉牛農家にはタチワセが向いていると言うこともできるでしょう。

しかし、実際にはこの数字上の差異よりも、前述した適期収穫の遵守やサイレージ品質の良否の方がずっと嗜好性や産乳性に対する影響が大きいため、この点に関しては、あまり神経質に考えなくても良いでしょう。

以上、イタリアンライグラスの新品種タチマサリの特性と利用について述べましたが、好評のタチワセ同様、タチマサリを上手に活用いただき、自給飼料の生産と利用の場で役立てていただければ幸いです。